

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

第61号

-2019年9月-

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 市丸 克己
連絡先 045-210-1111(代)
神奈川県青少年課内
印刷 文明堂印刷(株)横浜営業所
045-731-1441

～令和初の青少年指導員大会のご案内～

青少年と地域、未来を共に！

令和元年11月9日(土)に県立青少年センターホールにて、第52回神奈川県青少年指導員大会を横浜市で開催します。令和になって初の大会は見どころが目白押しです。

オープニングを飾るのは、横浜DeNAベイスターズチアスクールに通う子どもたち diana kids (ディアーナキッズ) です。元気いっぱいのチアダンスをお楽しみに！

今年の講演は、「はあとでdeボランティア」プログラムや横浜市都筑多文化・青少年交流プラザ館長としてご活躍されている林田育美氏を迎え、交流プラザの取組み、経験を通して分かったこと・感じたこと、青少年指導員に伝えたいことを内容に講演します。

そして、各地域で活躍をいただいている神奈川県青少年指導員60名が表彰予定となっています。

活動事例発表は、保土ヶ谷区と鶴見区がそれぞれ発表しますのでご期待ください。

「横浜らしさ」全開の大会となりますので、皆様のお越しを実行委員一同お待ちしております！



元気いっぱいに踊るディアーナキッズ

元気な花を咲かせましょう！～令和最初の指導員大会に向けて～

神奈川県青少年指導員連絡協議会会長 市丸 克己



長いようであつという間だった平成が終わり、令和の新時代に突入しました。

神奈川県青少年指導員大会は今年で早くも52回目を迎えます。毎年オープニングアトラクションに出演する青少年を見てみると「少子化や情報化等により、世情は常に変わっているけれど、青少年の一生懸命な姿はいつの時代も変わらず輝いているなあ」と感じます。

新元号には「明日への希望とともに、大きな花を咲かせることができるように」という思いが込められているそうです。これからも引き続き地域が一体となって、日本の明日を担う子どもたちを育てられるよう、ご協力をお願いします。

～横浜ならではの内容に～

第52回神奈川県青少年指導員大会 実行委員会副委員長
(横浜市青少年指導員連絡協議会総務部会長) 辺見 伸一



今年度の大会は横浜市の青少年指導員が担当ということで、横浜ならではの内容を意識し、参加者の方々が少しでも記憶に残る大会にする為に講演者の選出、神奈川県青少年指導員表彰受賞者への記念品と当日のスタッフの業務内容等に関して実行委員会を数回実施してまいりました。

検討の中でもオープニングアトラクションと記念品については横浜ならではの内容になるように色々なご意見を頂き決定することができました。

最後に、大会運営に従事していただくスタッフのお力をお借りして、今回の大会を成功裏に終わらせたいと思っております。

第52回神奈川県青少年指導員大会 概要

日時 令和元年11月9日(土) 13:00～16:00

場所 県立青少年センター 紅葉坂ホール
(横浜市西区紅葉ヶ丘9-1)

【交通機関のご案内】

- <鉄道>・JR根岸線「桜木町駅」下車、北改札(西口)から徒歩8分
・横浜市営地下鉄線「桜木町駅」下車、徒歩10分
・京浜急行「日ノ出町駅」下車、徒歩13分
- <バス>・横浜市営バス(8,15,58,105,109系)「紅葉坂」下車 徒歩4分
・横浜市営バス(103系)「戸部1丁目」下車 徒歩2分

☆会場駐車場は台数に余裕がございません。
公共交通機関をご利用ください。

県民大会報告

~~社会全体で青少年をはぐくむ環境づくり~~

令和元年度 青少年の健全育成を進める県民大会を開催しました

令和元年7月6日(土)茅ヶ崎市民文化会館において、「社会全体で青少年をはぐくむ環境づくり」をテーマに、青少年の健全育成を進める県民大会が開催されました。

●高校生による大迫力のオープニング

大会は、湘南学園高等学校の生徒の司会で進められ、県立鶴嶺高等学校の軽音楽部による演奏で始まりました。高校生らしい軽快で力強い演奏が大変好評でした。



総勢65名による県立鶴嶺高等学校軽音楽部

●基調講演 (認定NPO法人PIECES代表 小澤いぶき氏)



熱意の伝わるあたたかな講演

基調講演では、「埋もれてしまった子どもの興味や願いに寄り添い、引き出し、健全な実現の方法を一緒に見つけ出すことが重要である」ということが述べられました。

●現役高校生も参加したパネルディスカッション

県立鶴嶺高等学校の佐藤教道校長、コミュニティワーカーの和田麻友香氏、県立茅ヶ崎北陵高等学校の生徒



現場の声が聞けたパネルディスカッション

2名をパネリストに迎え、「さまざまな課題を抱える子どもたちへ「信頼できる他者」ができること」をテーマにして行われました。

青少年パネリストからは、「自分たちに寄り添い、理解しようとすると同時に、しっかりとしたメッセージを発信してほしい」。佐藤校長からは、「親でも教師でもない信頼できる「誰か」が教育に参画することは非常に有効であると思う」。和田氏からは、「子どもたちの悩みは様々である。大人、子ども、ではなく、一人の人間同士として、尊重しあう関係を築いて行きたい」。最後に、小澤氏から、「青少年が大人への不信任、こころの距離を作り出しているとするれば、原因は私たち一人一人にある。寛容な声掛けで信頼を積み重ね、子どもたちの多様性を受け入れること。子どもたち自身も含めたセーフティネットワークの構築が急がれる」というお話がそれぞれありました。

☆来年は川崎市での開催となります。

青少年指導員 青少年健全育成活動のご紹介

社会環境健全化推進街頭キャンペーンを行いました！

7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に合わせ、7月13日日産スタジアム、7月27日等々力陸上競技場にて、社会環境健全化推進街頭キャンペーンにご協力いただきました。



小雨の中頑張りました (7/13)

キャンペーンでは、神奈川県遊技場協同組合及び神奈川県福祉事業協会よりご寄付をいただい

た、県内Jリーグクラブ(川崎フロンターレ、横浜F・マリノス、湘南ベルマーレ)の選手の皆さんの写真を掲載したクリアファイルや、横浜F・マリノスの島中楨之輔選手の写真を使用した啓発チラシや、インターネット利用についての啓発ティッシュ等を県民の皆さんに配布しました。

た、県内Jリーグクラブ(川崎フロンターレ、横浜F・マリノス、湘南ベルマーレ)の選手の皆さんの写真を掲載したクリアファイルや、横浜F・マリノスの島中楨之輔選手の写真を使用した啓発チラシや、インターネット利用についての啓発ティッシュ等を県民の皆さんに配布しました。

7月13日横浜F・マリノスvs浦和レッド・ダイヤモンズ、7月27日は川崎フロンターレvs大分トリニータ、両日とも、大変混雑する中、皆さん気持ちのよい汗をかきながらのキャンペーンとなりました。

7月13日横浜F・マリノスvs浦和レッド・ダイヤモンズ、7月27日は川崎フロンターレvs大分トリニータ、両日とも、大変混雑する中、皆さん気持ちのよい汗をかきながらのキャンペーンとなりました。



青少年指導員の活躍にクローズアップ 第2回

★青少年指導員の活躍を世界に発信中！

相模原市青少年指導員連絡協議会 広報部

相模原市青少年指導員連絡協議会は、公民館区を基本に全市を27地区で構成し、各地区から各部へ1名ずつ部員を出して【事業企画部】、【研修部】、【広報部】の3つの専門部を作っています。

各地区で行われる数々の行事に、相模原指導員のユニフォームである青のジャンパーをまとった指導員たちが活躍しています。そしてそんな指導員をカメラにおさめる人影…今回はその人影の正体＝広報部員にズームインしてみました。

年2回発行する広報誌『はげいとう』に、どんな記事を書かせようか、特集は何にしようか、指導員がかかわる



編集会議にも熱が入ります！

行事をわかりやすく、互いの地区で参考になるような紹介も盛り込みながら、毎回楽しく編集作業をしま

す。昨年からは、市・こども・若者未来局に協力いただき、市のホームページに掲載し、誰でも見ることができるようになりました。事業企画部、研修部の活動も詳しく見ることができますので、最新号をぜひネット検索してみてください。



事業の様子を取材（キャンプファイヤー研修）



相模原市 はげいとう で 検索

※『はげいとう』の名前の由来も探してみてください！

第2回 事務局が行く ～ホテル観察の夕べ～

青少年指導員、ホテルがむすぶ、親子の思い出



6月14日(金)に神奈川県立四季の森公園にて、横浜市神奈川区青少年指導員イベントである「ホテル観察の夕べ」が行われました。

30年以上続く伝統のイベント

横浜市でホテルを観察できる場所を知っていますか。神奈川区の青少年指導員が、子どもたちがホテルを見る機会がなく、見せてあげたいという思いから、30年以上続けているイベントが「ホテル観察の夕べ」です。

区のイベントだけで年間約10のイベントを行いながらも続けており、申込者数は毎年100人を超えるほどの人気イベントとなっています。

また、夜の公園を歩くため、安全配慮



みんなでホテル観察へレッツゴー！

に特に気を使っていました。真っ暗な中で鑑賞するため、子どもたちが迷ったり、ケガをしたりしないよう、スタッフをしっかり配置することで、安全に配慮しています。

また、鑑賞前には、青少年指導員がホテルについて解説することで、見るだけではなく、学べるイベントとなっています。

親子をつなぐ青少年指導員

親御さんに参加した理由を聞いてみたところ、「自分が子どもの頃、ホテルを見て育ててきたので、子どもにも見せたかった」と話していました。

また、青少年指導員が案内してくれるのがありがたく、鑑賞前に注意点やホテルに関する知識を教えてくれてよかったといった声も聞くことができました。

初参加の子どもは、「絵でホテルを見たことはあったけど、本物を初めて見るのができて楽しかった」と嬉しそうに話してくれました。

イベント取材を通して、青少年指導員の思いが、親子のきずな、そして思い出につながる、あたたかい時間を体験することができました。

指導員の紹介・取材希望の場合は県青少年課 (TEL 045-210-3848) までお問合せください

個性あふれる子どもたちを笑顔にする そんな魔法(コツ)を教えちゃいます！

話を聞かない子、輪に入れない子、暴言を吐く子…。子どもの対応に困ったことはありませんか？

そんな子どもたちを笑顔にするコツを、芸人と県職員による寸劇を交えながら、ショートムービー（5分程度）で面白くご紹介いたします。子どもと接する方、必見です。

動画「指導者必見！！～子どもの注目を集めたい！～」

内容：

念願だった折り紙教室の講師をさせてもらうことになりウキウキの新米指導員。ところが当日、いざ話を始めようとしても、子どもたちのおしゃべりがとまらず、話を全く聞いてくれない。子どもたちの笑顔を期待していた新米指導員は思わず「こんなはずじゃなかったのに…」と落ち込んでしまう。

でも実は、導入であるテクニックを使うだけで、子

どもたちの態度はがらっと変わるんです。話を聞かない子どもたちの気を引き、注目させるその方法とは！？

他にも、みんなの輪に入れない子どもや暴言を吐く子どもなど、場面ごとに全4編で解説！！

出演者：アホマイルド坂本（芸人）

県職員（俳優は初挑戦ですが、体当たりで頑張りました）



↓動画はこちらから↓（かなチャンTVのページに移動します）

http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/1197/ktv/detail.html?id=Aa0cM1Zr72A&playlist=PLPIkJllkivHYp1ID1GgbpOTv9dcE_7yBU



今さら聞けない 知ってた？ 少年補導員編

少年補導員とは、少年の非行防止と健全育成のための活動をするため、警察署長から委嘱を受けた少年警察ボランティア*の一員になります。

県内では、1,500人の少年補導員が活躍されています。

少年補導員は、街頭補導活動や環境美化活動等の少年の社会参加活動のほか、酒、たばこ等の販売店に対する年齢確認徹底の要請など、有害環境の浄化に取り組んでいます。



街頭補導活動中の少年補導員

また、少年補導員一人一人に担当する学校（小・中・高等学校）を指定する学校担当制により、学区を単位とした非行防

止教室やサイバー教室、登下校時の見守り活動などを行っています。

警察と少年補導員等の少年警察ボランティア、学校関係者等が連携し、街頭補導活動や見守り活動を充実させ、非行や被害に至る前の段階で助言・指導することにより、非行と犯罪被害の未然防止を図っています。

（※少年警察ボランティアとは、神奈川県公安委員会が委嘱する少年指導委員、警察本部長が委嘱する被害少年カウンセリングアドバイザー、生活安全部長が委嘱する被害少年サポーター、少年育成課長が委嘱する大学生少年サポーター及び警察署長が委嘱する少年補導員をいいます。）

第61号では、青少年指導員とともに地域で活躍されている少年補導員を紹介させていただきました。次号をお楽しみに！！

お知らせ ★★★

かながわ子ども・若者総合相談LINE



コミュニケーションアプリ「LINE(ライン)」を活用した相談窓口を開設し、子ども・若者が抱えるさまざまなお悩みに関するご相談をお受けします。ご相談は専門相談員が伺い、費用は無料です。匿名でもお受けし、秘密は必ず守ります。みなさん、ご活用ください!!

【対象】

県内にお住まいの子ども・若者(39歳まで)及びそのご家族等周りの方

【相談受付期間】

令和元年10月1日～令和2年3月31日(※日曜、月曜、年末年始除く)

【相談時間】

火～土：13時00分～16時00分

【電話での相談も受け付けています】

かながわ子ども・若者総合相談センター

☎(045)242-8201 ※月曜、年末年始除く

(9時00分～12時00分、13時00分～16時00分)



↑LINE相談はこちら

かんたん工作②

空飛ぶ紙コップの作り方

＜材料＞

- ・紙コップ 2個
- ・ビニールテープ
- ・輪ゴム 4～5本
- ・牛乳パックの紙 8×1.5cm



① 紙コップの底の部分をあわせ ビニールテープで貼る。



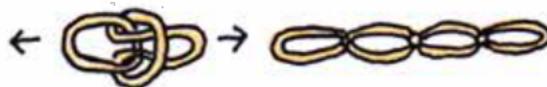
セロテープで仮止めするより



↑ビニールテープを2回くさい。

② コップに模様や絵を描けば完成。

③ 飛ばす輪ゴムは 4本連結します。(大人は5本)



牛乳パック



ビニールテープを巻いてとめる。

飛ばし方

① コップのビニールテープの部分に 輪ゴムの端を親指でとめ
引っぱりながら3周ほど巻きつける。



② 右利きの方は左手にコップ、右手にコップの下側からのびを輪ゴムの先(牛乳パック側)を持ち
腕をのばして かまえる。

③ コップを飛ばせば コップは回転しながら飛んでいく。 相模原市青少年指導員連絡協議会 広報部

簡単に作れる工作をご紹介します 問合せ：045-210-3848 (県青少年課)



横浜

第15回 瀬谷かるた大会

瀬谷区青少年指導員連絡協議会 編集委員長 菅野 広章

瀬谷区青少年指導員連絡協議会は、現在12地区から選ばれた青少年指導員の計149名で構成され、活動しています。

当協議会では、毎年1月に「瀬谷かるた大会」を開催しています。参加対象者は小学生です。参加者は同学年3人のチームでエントリーし、学年ごとにチーム戦を行い、順位を決めます。

使用するかるたは、「瀬谷歴史かるた」。瀬谷区の歴史や地名、民話を題材に作られており、かるたを通して瀬谷区を知ることができます。札の読み手は、例年、朗読ボランティアの「風の会」にご協力をいただいています。

昨年度の「第15回 瀬谷かるた大会」は、平成31年1月27日(日)に瀬谷センター体育館において、瀬谷区制50周年記念イベントの一つとして開催され、参加者は120人(40チーム)で熱い戦いが繰り広げられました。参加者が決めるユニークなチーム名、お揃いのユニフォームやバンダナで団結するチーム、それを応援する保護者の皆さん。熱気・やる気・元気がいっぱいのかるた大会でした。

大会の最後には表彰式が行われ、区長より表彰状・メダルが贈られました。負けてしまった子どもたちからは、「来年こそは自分たちがもらうぞ!」という声が聞こえてくるほど、悔しさにあふれていました。

「瀬谷かるた大会」は私たち青少年指導員にとっても、一年に一度、瀬谷区の歴史を振り返る大切な行事となっています。これからもこのイベントを通して、子どもたちとともに瀬谷区を盛り上げていきたいと思ひます。



元気いっぱい! かるた大会

地域活



県央

青龍祭と青少年指導員と子どもたちとのふれあい

清川村青少年指導員連絡協議会 会長 岩澤 正信

清川村は水と緑あふれる県内唯一の村です。

清川村の青少年指導員は小学校2校2名の先生と村民の7名、計9名で活動しています。

主な活動は小中学校訪問、村の夏祭り「青龍祭」、青龍祭に飾る「ぬり絵ちょうちん作り」、龍の製作、青龍パレードへの参加、親子ふれあい事業、村内の愛のパトロール等を行っています。「ぬり絵ちょうちん作り」は青少年指導員が主となり児童、親、先生たちで製作します。

今回は村の夏祭り「青龍祭」についてお話してみたいと思ひます。



ぬり絵ちょうちんを展示する様子

清川村で行われている青龍祭はもともと煤ヶ谷地区で江戸時代後期から昭和の初期に行われていた雨乞いの事業の様子を再現したものです。

この雨乞いの龍

の行事は、昭和の初めに一度は途絶えてしまいましたが、昭和61年に復元され、現在、清川村の伝統行事として守り継がれています。

青龍祭の龍には、雄龍、雌龍2頭の龍がいて、この龍は、竹やカヤ、わらなどで作られています。この2頭の龍は約20mあり、小学校の体育館から運び出し、入魂式を終え、小学生や中学生が龍を担いで青龍祭会場に向かって出発します。パレードの休憩場所などでは青龍太鼓の演奏でパレードを盛り上げています。

青龍祭会場では、親子で製作した「ぬり絵ちょうちん」を飾り、ちょうちんの中には電球を入れてお祭りを盛り立てます。また、青少年指導員と中学生ボランティアによるゲームコーナーやうちわ作りを行っています。青龍祭本祭ではアトラクションや青龍太鼓の演奏で盛り上げ、最後に龍を燃やし打ち上げ花火で閉幕となります。

青龍祭が終わってから、指導員、駐在所の警察の方と会場周辺をパトロールして解散となります。

少ない人数ですが、これからも青少年と村民で協力しながら活動していきたいと思ひます。



川崎

中学生の汗と指導員の汗が光る卓球大会

川崎市中原区青少年指導員連絡協議会 宮前 尚子

中原区の青少年指導員の活動はたくさんありますが、特に夏の全中原中学生卓球大会と、秋の中原区青少年吹奏楽コンサートは、毎年、青少年指導員と中原区役所の事務局が中心になって行なっている活動です。

今年の8月4日も川崎市高津スポーツセンターにて第54回全中原中学生卓球大会が開催されました。毎年各中学校から沢山の選手たちが、エントリーして試合に臨みます。朝早くから、体育館の中にシートを敷いたり、21台の卓球台を出してセッティングをしたり、沢山の氷を用意しての水分補給の準備などに追われます。トーナメント式で男女に分かれて試合が行われ、毎年白熱した試合になり、それぞれの卓球台の周りでは応援の音が威勢良く飛び交います。試合が準決勝、決勝と進んでいくと、周りの生徒や指導員たちの注目は、中央の卓球台に集まります。結果に涙を見せる生徒もいれば、周りの歓声と共に満面の笑みを見せる生徒もいます。

自分の力を発揮して試合に臨んでいる生徒たちの目は輝いていて素晴らしいと、毎年思います。目を輝かせている生徒たちの活躍の場を提供できる事を誇りに思い、

生徒たちから私たちが力をもらっています。そして、中学生だけでなく、得意分野が違っていても全ての子どもたちが目を輝かしていて欲しいと思います。中原区の子どもたちが、この地で育って良かったと思える街づくりを目指し、青少年指導員活動を行っていきたいと思います。



卓球大会準備に汗する指導員たち

動 報 告



県西

新たな試みにチャレンジ!

中井町青少年指導員連絡協議会 会長 今永 好信

中井町の青少年指導員は現在26名で活動しており、各種主催事業及び町事業への協力等に団結して取り組んでいます。

小さい町で子どもが少ないからこそ、活動の中で子どもたち一人ひとりと近い距離で接することができ、地域の身近な存在になれていると感じています。

毎年6月に指導員の研修を実施しており、活動に役立つ内容に取り組んでいます。令和元年度は新たな試みと



研修の成果はいかに

して、所属の指導員にバルーンアートの講師となっただき、「バルーンアート講習」を実施しました。簡単そうにみえて実際に作ってみると難しく、初めは席に座りながら講習を受けていましたが、夢中になるにつれて徐々に席から立ち上がり、指導員同士で教えあいながらバルーンアートを作成しました。

早速成果を発揮する場として、毎年小学6年生を対象にした山形県戸沢村と中井町の子どもたちとの交流事業の際に、指導員によるレクリエーションとして、バルーンアートを実施しました。子どもたちは初めてやる人が多く初めは戸惑いもあるようでしたが、指導員が子どもたち一人ひとりと近い距離で教えることで、少しずつ笑顔が見えてきました。最終的には、それぞれ個性のあるバルーンアートが完成し、子どもたちは大満足していました。

指導員にとっても、研修の成果が発揮でき、今後の活動に生かせる研修だったと感じています。今後も子どもたち一人ひとりと近い距離で接し、より地域の身近な存在になれたらと思います。



各市町村のイベントスケジュール
(令和元年10月～令和2年3月の予定)

◆横浜市

○紙トンボ、ぶんぶんゴマ体験コーナー(つるみ臨海フェスティバル内)＜鶴見区＞
10月19日(土) 9時30分～15時30分(荒天時は中止し、順延なし)
入船公園

○第10回 神奈川区小学校音楽フェスティバル＜神奈川区＞
12月7日(土) 10時00分～15時50分
神奈川公会堂(JR東神奈川駅/京急 仲木戸駅 徒歩4分 東急 東白楽駅 徒歩5分)

○第13回 西区ハマのウォーキングフェスティバル～令和の西区、秋風さんぽ～＜西区＞
12月1日(日) ※荒天時中止(気象警報発令時)
スタート会場：戸部公園、ゴール会場：臨港パーク
(1)ぐるっと温故知新コース：午前9時30分 スタート
(2)ちょこっと西区パワースポットコース：午前10時00分 スタート
【参加費】一般・高校生以上：300円、小・中学生：100円、未就学児：無料
【申込】10月中旬から、横浜市西区役所地域振興課にて受付開始 詳細についてはウォーキング担当(045-320-8390)まで。

○第39回 ボイス・オブ・ユース(青少年の主張)＜南区＞
12月1日(日) 13時00分～
みなみ(南公会堂)
小学3年生から20歳までを対象に募集した作文の表彰・代表者朗読発表等を行います。

○チャレンジ・ザ・ゲーム＜港南区＞
11月2日(土) 10時00分～15時00分
港南ふれあい公園
コマまわし、フリスビー的当てなど、子ども向けのゲームイベントを開催します。

○青少年防災対応力強化研修＜戸塚区＞
12月14日(土) 8時45分～14時00分(雨天決行)
横浜市消防訓練センター

○ほどがやバンドバトル2019＜保土ヶ谷区＞
11月16日(土) 11時00分～16時00分
保土ヶ谷公会堂

○第43回 保土ヶ谷区新春かるた大会＜保土ヶ谷区＞
1月26日(日) 9時40分～16時00分
ほどがや地区センター

○第23回 ベットボトルロケット大会＜港北区＞
11月4日(月・祝) 10時00分～14時20分
※荒天時中止
鶴見川樽町公園

○ゲームで学ぼう！防災イベント＜緑区＞
11月24日(日) 10時00分～13時00分(予定)
横浜市立長津田小学校

○つづきウォーク&フェスタ＜都筑区＞
11月23日(土・祝) 9時00分～15時00分
センター南駅前すきっぷ広場及び区内各所

○青少年フェスティバル～自分・発信 今こそ伝えよう～＜泉区＞
3月22日(日) 10時00分～16時00分
横浜市中田小学校
空手や太鼓など地域の子供たちが練習の成果を披露します。

◆川崎市

○第42回 かわさき市民祭りにおけるイベント(川崎市)
11月2日(土)、3日(日) 午前10時から午後4時まで(予定)
第42回かわさき市民祭り会場内(川崎市富士見公園)
親子クラフト教室、青少年による夢ライブ、薬物乱用防止キャンペーン。

○第30回 中原区青少年吹奏楽コンサート(中原区)
11月3日(日) 午前11時30分～午後4時30分(予定)
川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)

○第35回 あさおわくわくウォーク(麻生区)
11月24日(日) 8:30集合
麻生区役所発着 千代ヶ丘方面

○第30回 麻生区小学生バドミントン大会(麻生区)
2月9日(日) 9:30開会
麻生スポーツセンター 大体育室

○第30回 麻生区小学生バレーボール大会(あさおスポーツフェスティバル2019)(麻生区)
2月16日(日) 9:30開会
麻生スポーツセンター 大体育室

◆相模原市

○第14回 さがみはらスポーツフェスティバル2019
10月14日(月・祝) 10時15分～15時15分【雨天中止】
相模原ギオンスタジアム(相模原麻溝公園競技場)

○さがみはら子どもの権利の日のつどい
11月4日(月・祝) 12時～16時
ユニコムプラザさがみはら
子ども・若者の未来をテーマに講演、活動報告、工作体験、子ども食堂試食会などを行います。

○第37回 親子ふれあいの広場
11月10日(日) 10時～15時【雨天中止】
淵野辺公園 芝生広場・樹林広場
親と子がいっしょに楽しむことができる競技やゲーム、ステージなどを行います。

◆横須賀市

○第14回 活動体験発表会と講演会
2月8日(土) 午後2時～
横須賀市立青少年会館 3階ホール
鷹取・若戸・武山の3中学校区が日頃の体験や活動成果を発表し講師をお招きします。

◆藤沢市

○JUMP UP U-20 WINTER CONCERT
12月25日(水) 13時から
藤沢市湘南台文化センター市民シアター
中学生以上20歳以下の青少年が出演するコンサート

◆綾瀬市

○令和元年度親子手づくり教室
第1回 2月1日(土) 午前10時～正午(予定)
第2回 2月2日(日) 午前10時～正午(予定)
綾瀬市役所 会議室

青少年の健全育成に係る出前講座のご案内

県青少年課では、青少年がインターネットを適切に利用するための保護者の役割など、青少年の健全育成に係る出前講座を、県内にお住まいの方を含む10名以上のグループを対象に実施しております。ぜひ皆様の活動にお役立てください。

＜神奈川県 福祉子どもみらい局子どもみらい部青少年課＞

☎045-210-3848

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/t7e/cnt/f4151/p12582.html>



「つばさ」第26期 編集委員

藁科 文男 (横浜地域)
岸 真介 (川崎地域)
齊藤 一城 (相模原地域)
織田 俊美 (横須賀三浦地域・担当理事)
萩原 正恵 (県央地域)

編集後記

つばさ編集委員 齊藤 一城
編集委員会も2年目に入り、編集委員の親睦も深まり、編集会議では闊達な発言であふれています。

「こうした方が読者により訴えられるのでは・・・」、「写真のキャプションはもっとわかりやすく・・・」

皆さんに楽しんで読んでもらえるよう、編集委員一同、熱く語り合っています。